

(別紙様式)

【県実施分】学力調査結果の分析による具体的な取り組み 2年

日田市立東溪中学校

【2年国語】

課 題	具 体 的 な 対 策		
	授業改善	定着に向けた方法	家庭学習の取組
1 場面の展開に即して人物の様子をとらえること。(文学作品) 2 聞き手に理解してもらうための話し方の工夫を聞き取ること。 3 文章の展開に即して内容をとらえること。(説明文)	○ 場面の展開を確認し、情景描写や言動から、人物の気持ちをとらえる活動。 ○ 聞き取り問題の計画的な実施。 ○ 文章の展開をつかむために、文章全体と部分の関係や、事実と意見とを区別するなどの活動。	○ 文学作品・説明文では場面の展開や構成を必ずおさえる。 ○ 読み取り中心の授業の設定。 ○ メモの工夫。	○ 副教材(ワーク)の実践問題集としての活用。 ○ 教科書音読と段落(場面)分けの課題。
市正答率県比 103.6 本校正答率県比 (109.4)	来年度	本校目標正答率県比 (104)	

【2年数学】

課 題	具 体 的 な 対 策		
	授業改善	定着に向けた方法	家庭学習の取組
1 比例, 反比例のグラフの利用。 2 正負の数を利用して基準との差から平均を求めることの活用的問題。 3 文字式における項や係数, 次数等の意味の理解	○課題やポイントを明確にし, ドリル学習を充実させ, 学習内容の定着を図る。 ○単元末に応用的, 活用的問題を取り入れる。	○既習事項の弱点分野に重点をおいたドリル学習に取り組む。 ○休日課題の継続と授業での解説等の継続。	○毎時間の授業の定着を図る宿題の提示。 ○休日課題の継続。
市正答率県比 97.1 本校正答率県比 (113.9)	来年度	本校目標正答率県比 (110)	

【2年理科】

課 題	具 体 的 な 対 策		
	授業改善	定着に向けた方法	家庭学習の取組
・正答率が低いのは、「圧力を求める計算問題」と「葉の裏側からの蒸散量を求める問題」である。 ・基礎問題, 応用問題のどちらもよくできていた。	・なぜそうなるのか理由を考えさせながら観察・実験を行う。	・学習内容の定着が図られているようなので, 引き続き理科ノートの問題活用, 小テストの実施等を行っていく。	・副教材(問題集)の活用。
市正答率県比 95.4 本校正答率県比 (126.3)	来年度	本校目標正答率県比 (110)	

【2年英語】

課 題	具 体 的 な 対 策		
<p>・各領域別においては、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」すべてにおいて県の数値を10ポイント以上上回っているが、「聞くこと」が低かったので強化していく必要がある。</p> <p>・観点別においては、「理解の能力」が他の2つの観点に比べ低かったので、リスニングや長文読解の問題に強くなるような取り組みをしていく必要がある。</p>	<p>授業改善</p> <p>・1時間の授業の中で、リスニング問題・dictationの時間を意識して設ける。</p> <p>・教科書本文読解の授業において、T・F問題、QA問題を必ず実施し、本文理解のポイントをつかませる。</p>	<p>定着に向けた方法</p> <p>・教科書のリスニング問題の効果的な活用方法を考え実施する。</p> <p>・教科書本文理解の助けとなる補助プリントの作成する。また、教科書以外の長文問題にも取り組ませる。</p>	<p>家庭学習の取組</p> <p>・休日課題または長期休業課題として長文問題を課す。まとまった英文を読むことに慣れさせ、抵抗感を払拭させる。</p> <p>・英語検定の長文問題にもチャレンジさせる。</p>
<p>市正答率県比 106.7 本校正答率県比 (122.8)</p>		<p>来年度 本校目標正答率県比 (107)</p>	

【2年生活面】

課 題	具 体 的 な 対 策
<p>1 本を読んでいる生徒が 45.9%、新聞記事を読んでいる生徒が 12.5%と少なく、県や全国平均を下回っている。</p> <p>2 話し合い活動等で、相手の話をしっかりと聞き取っている生徒が 62.5%と県や全国平均を下回っている。</p> <p>3 生活のリズム（就寝時間が決まっている）が安定している生徒が 16.7%と少なく、県や全国平均を下回っている。</p>	<p>○ 朝自習の時間に読書をさせたり、今日のニュースから感想発表などを個人ごとに行い、読んだ感想を書かせたり、発表させたりして興味関心をもたせる。</p> <p>○ 友だちや先生等が発言しているときには、きちんと顔を上げて、自分ならどう思うかを考えさせながら、時に指名させて発表させる。</p> <p>○ 規則正しい生活が、身体に及ぼすいい影響を知らせ、毎日ノート等をつかって就寝時間を把握し、指導する。また、朝の個人健康観察カードにも就寝時間を記入する欄を設け、養護教諭とタイアップして、指導に当たる。</p>